

主要農作物の生育・出荷状況

令和元年8月29日現在
南会津農林事務所農業振興普及部

1 主要農作物の生育・出荷状況

作物名	生育・出荷状況
作物	<p>【水稻】 ○出穂期は平年並であり、その後の登熟は良好である。 出穂始期：8/3（平年比+1日）、盛期：8/6（同+1日）、終期：8/14（同±0日） ○一部で紋枯病が発生しているが、現在のところ、減収のおそれがある止葉、穂への進展までには至っていない。</p> <p>【そば】 ○夏そばは6月に降雨が続き結実不良となり、収量皆無となった生産者があった。 本年度初めて夏そばを作付けしたほ場では、8月に収穫が行われた。 ○秋そばは7月中旬から8月中旬に播種が行われ、出芽・生育は良好である。 ○作柄判定ほ調査結果（8/26） 主茎長：66.3 cm（平年比 66.5%）、主茎節数：9.1 節（同 101.1%） 分枝数：2.0 本（同 111.1%）、倒伏発生程度：無</p>
野菜	<p>【トマト】 ・高温により、上段に花落ちが発生しており、現在の収穫段には裂果、空洞果が多い状況。最終段は例年並みの11～12段となる見込み。 ・出荷量は8月中旬にピークとなり、8月中旬までで前年比118%となっている。 ・病害虫は、灰色かび病の発生が多くなってきている。</p> <p>【アスパラガス】 ・ハウス半促成栽培は例年通り6月中旬から、露地栽培では7月上旬から夏芽の出荷が開始され、8月上旬に出荷ピークを迎えた。 ・褐斑病が蔓延しており、一部ほ場で茎枯病、ハダニ、アザミウマ類が多発している。</p>
花き	<p>【リンドウ】 ○早生品種（ながの2号）については、開花遅延もなく需要期に出荷（西部） 彼岸品種（しなの3号）については、昨年と同程度の生育、開花については、9月上旬見込み。（西部） 彼岸品種（かせん彼岸）については、平年並みの生育であり9月はじめより出荷開始の見込み。 出荷量は、8/25日 263cs。（西部） ○病害虫の発生については、西部、褐斑病、灰色カビ病が散見される。東部では葉枯病の発生が多い。</p> <p>【カスミソウ】 出荷量 8/23 現在 50cs 昨年より10cs多い。 単価 90規格 平均215円 昨年よりやや低い。 新植株の生育は平年並み。病害虫の発生は見られない。</p>
果樹	<p>【リンゴ】 ○果実肥大状況は平年より若干小さく推移している。 ○一部の極早生品種では8月中旬から収穫が始まった。 ○「つがる」は9月上旬から収穫の見込み。春の開花が平年並だったため、収穫も平年並とみられる。</p>
畜産	<p>【飼料作物】 永年性牧草2番草の収穫は終了した。梅雨明け以降の高温によりチモシーの再生が不良で3番草の刈り取りができない草地がある。 稲WC Sについては、8/17に伊南地域から機械収穫開始。草丈のはそれほど低くなってはならず、現時点で、前年並みのロール数は確保できている（3～4ロール/10a）。</p>